

研究部 ニュース No1

平成31年
4月15日

「特別の教科 道徳」の授業が始まりました。

今年度より「人格の完成」を目指し、前期生を対象に「道徳」が特別の教科として実施されることとなりました。本校でも研究部を中心に準備を進め、年間指導計画を作りました。先日、3年生の第1回となる授業が行われました。

『銀メダルから得たもの』 ～吉田沙保里さんの体験から～

2016年、リオデジャネイロオリンピックで吉田沙保里さんは決勝で敗れ、オリンピック4連覇を逃しました。

「表彰台で涙を流していた吉田だったが、帰国後のインタビューでは、『今は銀メダルでよかったと思っています。金メダルより得られるものが多いからです。』と発言しました。」

(日本文教出版『あすを生きる』より)



●コーチと抱き合って喜ぶ相手選手の横で、床に伏せたままの吉田選手

「銀メダルから得たものとは何か」を考えることを通し、目標に向かって努力することについて、生徒同士で意見を交わして深く考えました。



(←写真)

熱心に話し合い、
自分の考えを表現し
ようとする生徒達

(生徒感想↓)

自分は努力しても周りの人に認めてもらえないとき、周りの人が悪いと心の中でずっと思っていたけど、もっと周りの人が嫌でも認めてしまうくらい努力しようと思いました。アスリートの人たちの言葉が心に響くのは、悔しい経験をしてきたからこそだと思った。

私はそこまで「悔しさ」を感じたことがないと思う。それは、プライドとかの問題で感じるはずだが、私はハードルが低いからだと思う。努力すれば自然とハードルは上がるので、まだあまり努力はできていないと思う。ハードルを上げる→悔しさ→努力→… と永遠にループをして力を高めていく上で、今回の「悔しさ」という要素は努力をするために大切な事だと思う。

自分は今まで努力をせず、「まあ、いけるでしょ」と投げ出すことが多かったです。しかし、この話を読んで「人は努力をしないと前に進めない。変わらない。」ということが分かりました。今は嫌でも将来のためになるのなら勉強をしていこうと思いました。「努力をすれば絶対良いことがある」ということを胸に、何事にもチャレンジしていこうと思います。

4月 主な研究部の取り組み

4/11 NRT (1～3年)

4/18 全国学力・学習状況調査 (3年)